

読書感想文全国コンクール

締め切り 令和8年8月28日(金)

趣旨

- 子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。
- より深く読書し、読書の感動を文章に表現することをとおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

対象図書

- 自由図書…自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問わない。
- 課題図書…

低学年

- ・まこちゃんとコトバロボ
- ・なにかいいことあった？
- ・うらのまほうのことは
- ・たねはいのちのおわりとはじまり

中学年

- ・まだまだここから
- ・それからぼくはひとりで歩く
- ・おいしいお米をつくりたい！
ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました
- ・宇宙でウンチ
みんなの知らない宇宙トイレのひみつ

高学年

- ・ポジション！
- ・リヒト！
- ・ミシュカ
- ・キミの一步アフリカ
ゾウを食べるには

字数 (句読点・改行のための空白か所は字数として数えます)

- 小学校低学年の部 本文 800字以内
- 小学校中学年の部 本文 1200字以内
- 小学校高学年の部 本文 1200字以内

※題名、学校名、氏名は字数に数えません。(欄外に記入し、いきなり本文から書き始めてください)

注意点

- ・B4の原稿用紙を使用し、縦書き自筆してください。字詰めに規定はありません。
- ・応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他のコンクールとの二重応募は不可です。
- ・校内審査で選ばれた児童は、規定に沿って書き直しをしていただくことがあります。
- ・応募票に必要な事項をご記入の上、ご提出ください。記入した応募票は、作品の一番上に添付して右肩を閉じてください。(応募票は学校のホームページから、ダウンロードできます)
- ・字数オーバー、盗作・剽窃、応募票の記入漏れは失格となりますのでご注意ください。

《読書感想文の書き方例》

3. 一番！

自分が感じた一番〇〇なことを（感動した、驚いた、悲しかった、嬉しかった、心に残ったなど）を書きましょう。

2. 自分の経験や体験と比べて

自分の体験をお話と比べたり、関連付けたりして書く
とよいでしょう。
**本の内容と結びついている
ことがとても大切です！**

1. 書き出しの工夫

この本を読んでみようと思ったきっかけや、本文の引用など、読む人が「読んでみたい！」と思えるような工夫があるとよいでしょう。

私の通う芝原小学校では、図書ボランティアのお母さんが読み聞かせに来てくれます。そこでこの本を読んでくれました。

私もサクラと同じように、仲の良かった友達とけんかをしたことがあります。その時、私はサクラと違って、……でした。

私が一番不思議だなあと思ったことは、サクラがカオリに……と言ったことです。

私がサクラだったら、きっと……。

この本を読んで、ほんとうの友達とは……。

……。

もしまた友達とけんかしてしまうことがあっても、……。

6. 終わり方

読んでいる人になるほど！よかった！と思えるようなまとめ方ができるとよいでしょう。

5. この本から

題名にはどんな思いが込められていたのか、この本から感じたことや学んだことはどんなことなのか、本を振り返るとよいでしょう。

4. わたしが〇〇だったら

主人公の気持ちに寄り添い、主人公はこんなことを伝えたかったのではないかと考えてみましょう。自分ならこんなことはできない、こんな風にはしない、ここは共感できるなど、主人公と自分を重ねて考えてみましょう。

制限字数いっぱいまで書けるとさらに思いが伝わります！